

アスリートの腸内環境を研究するスタートアップ「AuB」
新型コロナウイルスの影響で、自炊の選手増
栄養管理に悩むアスリートが無償で支援
Zoomで面談、競技の運動強度から食事内容を助言

アスリートの腸内環境を研究するスタートアップで、サッカー元日本代表の鈴木啓太が代表を務めるAuB(オーブ、東京・中央区、鈴木啓太 代表取締役)は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、自炊を余儀なくされるスポーツ選手らを対象に、無償で食事指導をする取り組みを開始します。

当社は事業の一つとして、選手のコンディションを腸内環境(腸内フローラ)から整えるサポートを行っています。各競技や選手ごとの運動強度に合わせて、食事内容を提案するなど、その知見を今回の助言に生かします。

選手は今、所属先のクラブハウス(食堂施設)が使えなくなるなど、食事面で苦勞しています。当社はそうしたアスリートの、コンディショニングの力になりたい考えです。

今回の「AuB 食事コンディショニングサポート」は、新型コロナウイルスの影響で食事に悩む、プロアスリートを対象に行います。対象者は、所属するチームの食堂など、これまで栄養・食事管理をしていた環境を失った選手などを想定しています。例えば、一人暮らしをしながら競技に打ち込む選手の中には、急遽自炊を余儀なくされ、栄養バランスの管理に困っている方も多くいると考えています。

そうした悩みを抱える選手を本日から当社ホームページ上で募り、競技や年齢、国内在住に関わらず、広くサポートします。

アドバイスはZoom(ズーム)などテレビ会議システムを使い、管理栄養士や公認スポーツ栄養士などの資格を持つ当社社員(AuB アスリートサポートチーム)が行います。各選手個人の体組成や、競技および現在の運動強度、そして今抱える課題なども踏まえて、必要な食事量や内容を、選手が実践できる方法でアドバイスします。加えて必要に応じて、その競技のパフォーマンスを向上させるために、最低限摂取すべき食材の提案なども行います。

面談は希望があれば複数回受け付けます。面談後はLINEも使いながらサポートし、日々の生活で気になる点を気軽にやり取りできる環境を整えます。

28 競技、700 人以上のアスリートの腸内環境を研究する AuB

AuB は 2015 年 10 月の創業からこれまで、サッカーやラグビー、陸上など 28 競技、700 人(1400 検体)以上の腸内フローラを解析、研究してきました。協力してくれる選手には、各人の腸内フローラの状況(腸内細菌の種類と数、構成等)をレポートで報告し、当社の管理栄養士が腸内環境の改善を意識した食生活をアドバイスしています。

筋肉のつきにくい選手の課題を腸内環境の改善から解決するなど、選手のコンディショニングにつなげています。こうしたこれまでの実績を武器に、今回の新型コロナウイルスの影響で食事に悩む選手の力や支えになりたい考えです。



香川県にある AuB ラボ。便から採取した DNA を保存する専用の冷凍庫も完備

サポート概要

名称	AuB 食事コンディショニングサポート
期間	当社ホームページ上で 2020 年 5 月 8 日 (金) から応募を受け付けます。終了時期は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を見ながら決定します
対象	新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、コンディショニング(主に食事)について悩んでいるプロアスリートで、Zoom などテレビ会議システムを使い日本語でコミュニケーションをとれる方。競技、年齢、在住地域は不問
募集方法	当社ホームページ上の問合せ窓口 (https://aub.co.jp/enquiry/) から必要事項を明記の上ご応募いただく
募集人数	特になし ※応募状況によっては受付を締め切らせていただくこともありますこと、予めご了承ください

<ご参考資料:AuB 最近のトピックス>

AuB は 2015 年 10 月に設立した腸内細菌を研究するスタートアップです。これまでに採取した便の数は、スポーツ選手 700 人分を越え、その検体数は 1400 を突破しています(2020.4 時点)。

選手は、オリンピックの金メダリストをはじめ、海外の一流クラブや Jリーグに所属するサッカー選手、プロ野球選手など、超のつくトップアスリートが多数並びます。競技はサッカーやラグビー、陸上など、28 種目に及びます。

大正製薬などから 3 億円の資金調達に成功、フードテック事業参入

2019 年 9 月、大正製薬(株)と三菱 UFJ キャピタル(株)、個人投資家を引受先とする第三者割当増資を実施し、総額約 3 億円を調達したことを発表。

そして 2019 年 12 月には、4 年間の研究成果を武器に、フードテック事業に参入しています。

酪酸菌をメインに、29 種類の菌を配合した「Athlete Bio Mix (アスリート・ビオ・ミックス)」を開発。同菌ミックスをベースとしたサプリメント「AuB BASE (オーブ ベース)」(1 袋 90 粒入り、定期購入 4838 円(初回特典 2678 円、単品 5918 円、全て税込価格)を、2019 年 12 月 16 日(月)から自社 EC サイト (<https://aubstore.com>) を通じて発売しています。



4 年間かけて 500 人・1000 検体以上のアスリートの便(腸内環境)を解析した結果、日ごろから運動と食事に気を遣うアスリートの、健康的な腸に棲む菌の種類や割合の傾向を突き止めました。この研究で、ヒトの腸内の健康度合いは「酪酸菌の多さ」がカギを握ることを明らかにし、合わせて「菌の多様性(種類の豊富さ)」が重要な役割を果たすことを確認しており、その知見を商品に生かしています。

サプリメントは、一般の方の腸内細菌の多様性を平均 7.5%増やししながら、酪酸菌を平均 3.7%増加させるという検証結果を得ています。30~40 歳代のスポーツ愛好家や“ビジネスアスリート”をターゲットに、日々のコンディショニングの土台となる腸内環境を整える商品として投入します。

また発売に合わせて、英 LGC 社の国際的アンチ・ドーピング認証プログラム「インフォームドチョイス」を取得しています。

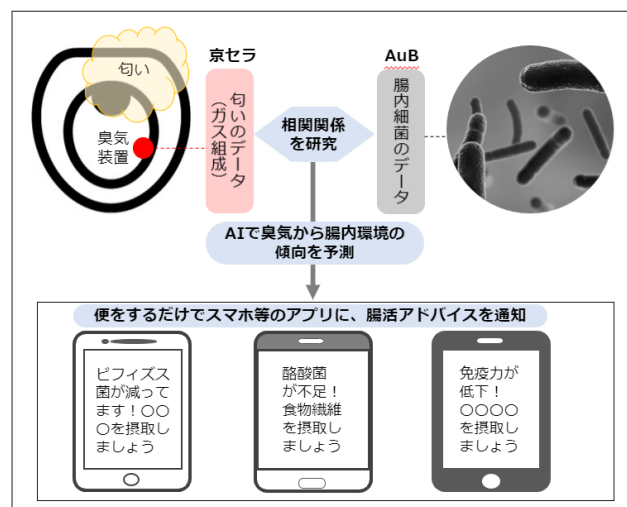
AuB BASE 商品概要

商品名	AuB BASE(オーブ ベース)	発売日	2019年12月16日(月)
販売場所	当社オンラインショップ (https://aubstore.com/)		
税込価格	【定期】4838円 ※定期購入の初回特典:価格2678円、専用ケース付 【単品】5918円		
内容量	226mg×90粒	包装	パウチ包装
賞味期限	製造日から24カ月	摂取目安	1日3粒

2020年から「京セラ」との取組開始

当社は創業時から、便のDNAを大学教授ら国内有数の研究機関と解析し、菌の種類や数、その構成状況をデータベース化しています。こうして蓄積したアスリートに特化した腸内環境のデータや知見は、大手企業からも注目されており、食品メーカーをはじめ多くの企業と共同研究を進めています。

そんな中、2020年2月、京セラと、腸内細菌に関する共同研究の契約締結を発表。同社保有のAI技術を応用しながら、便の臭気から腸内環境の傾向を予測するシステムを構築したい考えです(右図参照)。同時に、同社社員の腸内環境の状態を把握して、各人の健康に役立つ取り組みも開始。同社が研究中の健康経営に貢献するビジネスモデルについての実証実験を進めます。社内で役立つと同時にそれを、一般消費者向けのアプリとして開発・運用できないか、両社で検討します。



会社概要

社名	AuB(オーブ)株式会社	設立	2015年10月15日
資本金	413,489,305円	売上高	非公表
代表	代表取締役 鈴木啓太	従業員数	12人(2019.9月時点)
共同研究	香川大学、至学館大学など	所在地	東京都中央区銀座7-13-6
事業内容	腸内細菌解析事業、コンディショニングサポート事業、 バイオマーカー開発事業、腸内細菌関連製品開発事業		
HP	https://aub.co.jp/ 、 https://aubstore.com (オンラインストア)		
電話	03-4455-2139		

——— 報道各位からのお問合せ先 ———

AuB 広報事務局((株)Clover PR 内)

担当:澤本、富田、角田(つのだ)、福本

tel.03-6452-5220 mail:cloverpr@cloverpr.net

〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂2-10-7 新大宗ビル2号館14階